

国際文化理容美容専門学校渋谷校

自己評価報告書
(令和5年度)

学校法人 国際文化学園
国際文化理容美容専門学校渋谷校

評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目標・育成人材像

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
理念・目的・育成人材像は定められているか	4
育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

- ・本校は理容師法及び美容師法並びに学校教育法に基づき、理容師および美容師としての高度な専門知識・技能を習得させると共に豊かな人間性を育て、品位ある理容師・美容師の養成を目的としている（学則第1条）。
- ・学園の理念として校是に掲げる「つくす心」は、言い換えれば奉仕、ボランティア精神を示すが、決して自己を犠牲にすることではなく、社会を通じて自分を活かし、高め、人間として成長していくことを意味している。この心の上に技術を積み重ねることが、美容理容に限らずすべての技術者の成功と将来の幸せに必ず繋がる。本学で学ぶ一人ひとりが一日も早くこの心の在り方に気づき、それを日々の姿勢として大きく育てていってくれることを願い、心技兼ね備えた人材の育成に努めている。
- ・関連業界の人材ニーズは明確に認識しており、業界・企業等からの十分な協力を得て教育課程等を策定している。ハイレベルな職業教育と充実した施設環境が特色に挙げられる。美容師・理容師免許取得を第一義に、理美容に関する内容を総合的に習得できるよう、業界等との協調体制をもって実社会におけるニーズを観察把握し適宜カリキュラムに反映している。
- ・重要案件に学生募集対策が挙げられるが、相対的に有効と思われる対策を見出すべく要因毎に分析を試み、その結果を共有しながら全教職員の一体となって取り組んでいる。

基準2 学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
理念等に沿った運営方針を定めているか	4
理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
学校運営のための組織を整備しているか	4
人事・給与に関する制度を整備しているか	4
意思決定システムを整備しているか	4
情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3

- ・運営方針は明確であり、これに基づき事業計画を策定している。実際の運営に際しては目標、事業計画、組織を関連させ優先順位を検討した上、理事会の承認を得て実施している。新年度頭の理事長校長訓示等にて全教職員に指針を示している。
- ・運営組織や意思決定機能は十分効率的であり、各部署毎其々の業務を遂行し連携しながら効率的に機能している。各部署にて担当業務を細分化しつつ所属上長への報告を徹底し、職務分掌、責任所在も明確である。定期開催される最高決定会議による議決システムを確立しており、同システムを全教職員が認知している。より良い執行形態の検討を常に念頭にしていければと思う。
- ・人事・給与に関する制度は整備されており、就業規則始め各種諸規定を明確に定めている。諸規定は適切に整備されるべきものであり、社会的学内的に実情に即した内容であるよう整備に努めたい。
- ・情報システム化による業務効率化を図っている。学生情報等管理システムの更新に際して、従来の内容を全面的に確認し見直した事で、最新最善のシステム構築を行う事ができた。

基準3 教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4
学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
教育課程について外部の意見を反映しているか	4
キャリア教育を実施しているか	3
授業評価を実施しているか	3
成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
資格・免許取得の指導体制はあるか	4
資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
教員の資質向上への取組みを行っているか	4
教員の組織体制を整備しているか	4

- ・教育活動上の方針は明確であり、全教職員の意識統一がなされている。美容師・理容師免許取得が到達目標であり大前提であることを共通して認識し、相応の指導・支援体制を確立。個々の学生の習熟度・理解度を把握し、各々のレベルに応じて入念にサポートしている。また、日々の指導を通じて将来に対する意識や目的意識、自立意識の涵養を図っている。
- ・専門科目/一般科目、必修科目/選択科目は根拠法に則り適切に配分している。目標到達・職業実践教育双方の観点から科目毎に適切な授業形態を選択配分している。外部見解や意見は都度検討し必要と判断する内容は採用するようにしている。
- ・資格・免許の必要性、重要性を真に理解させることがモチベーション向上にも繋がる。今後も有資格者であることの社会的信頼度の高さを啓蒙しつつ、学生個々をサポートしていく。
- ・教員については一定水準の人材を確保しており、外部の研修・講習等への参加を奨励している他、学内でも教職員間で積極的に勉強会を実施している。教員個々が自身の職責を十分に自覚し、一層の自己研鑽に努めることが強く望まれる。後進への教育徹底により教授力の水準維持を図り、同時に全体的なレベル向上に取り組んでいきたい。教員間は常時適切に協業しており、通常授業は勿論課外授業や補講等まで、授業方法にも工夫を凝らした手厚い指導体制を整備している。関連業界内での本校出身者に対する高評価を即ち本校の教育活動に対する評価と受止め、今後も継続されるよう努めていきたい。

基準4 学修成果

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格・免許取得率の向上が図られているか	3
卒業生の社会的評価を把握しているか	3

- ・進路変更等を除く就職希望者の就職率は毎年ほぼ100%。学生の就職活動状況はクラス単位で詳細に把握しており、内定に至るまで丁寧にサポートしている。求人先の美容・理容サロン始め理美容関連企業との協調関係の一層の緊密化を図り、個々希望通りの就職が叶うよう綿密なバックアップを継続する。
- ・国家試験では毎回高い合格実績を挙げており、今後も継続できるよう指導に努める。民間の理美容関連資格・検定試験等では試験によって合格者が少数に留まる場合もある。都度試験内容等を分析対策し、合格率向上に向けて指導内容の改善を図っていく。
- ・卒業生の動向は在学時の担任を介して把握しており、コンテスト等の受賞状況を知り得る機会も多い。

基準5 学生支援

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
退学率の低減が図られているか	3
学生相談に関する体制を整備しているか	4
留学生に対する相談体制を整備しているか	—
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3
学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3
学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3
課外活動に対する支援体制を整備しているか	—
保護者との連携体制を構築しているか	4
卒業生への支援体制を整備しているか	4
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	—
社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	—

- ・就職活動支援における体制として、従来「担任＝担当制」を採用し、各クラス担任が個別対応しながら就職活動を丹念にバックアップしている。
- ・中途退学への対応では学内で連携し個々の状況に応じた対応に努めている。経済的理由による申出の場合は如何ともし難く、課題として残り続ける。心理面等のサポートにより回復の余地がある場合もあり、当該学生とは保護者を含めて根気強く話し合っていきたい。学生からの相談にはマンツーマンで応じているが、根本的姿勢として必ず真摯に受応えることが特に大切である。
- ・経済面への支援体制として、学費の納入においては等個別の諸事情に応じて可能な限りの対応に努めているが、すべての要望には応えられないのが実情であり、今後においても相当難しいことと認識している。
- ・健康管理については定期的に健康診断や予防接種を実施している。実は口頭での直接指導や注意喚起が体調管理上の実効性が高い。
- ・学生寮は都内各所に提携寮の用意があり、学校案内セットに関係資料を同封して紹介している。提携先企業との間において管理体制、生活指導体制は明確であり、定期的に寮生の生活状況報告を受けている。
- ・保護者とは全般的に見て概ね適切に連携していると自認しており、学期毎に保護者宛に成績・担任所見等を通知し、感想を提出してもらっている他必要に応じて保護者面談・三者面談を実施している。
- ・卒業生には相談内容に応じて親身に対応している。再就職等については情報提供や具体的な紹介等。希望があれば可能な限り施設設備も利用させている。気軽に、頻繁に学校を訪ねてくることを、学生生活が良好であったことの証であろうと喜ばしく思っている。

基準6 教育環境

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3
防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3

- ・施設・設備・機器類は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。学内組織の施設管理課を始め教職員全体によって日常的な衛生管理・メンテナンス体制を確立している。毎日の清掃を学生・職員で行っていることが衛生管理に対する意識向上に繋がっており、今後も良き伝統として継承していきたい。
- ・海外研修等、学外実習の実勢体制は十分に整備されていると認識している。学校行事の実施に際しては積極的に学生に参画させており、行事によっては当初の企画立案から運営まで全面的に取り組みさせている。

- ・防災・安全管理上において毎年定期的に消防訓練を実施しており、同時に防災への意識付けを行っている。また然るべき警備システムを導入し防犯対策を講じている。
- ・学内における安全管理においては各担当者を定めており、指揮連絡系統は明確にしてある。防災・安全等に関するマニュアルの整備がやや不十分。

基準7 学生の募集と受け入れ

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4

- ・学生募集活動においては従来校内ガイダンスへの参加や学校訪問等、高等学校等に対する情報提供に注力している。今後も活動を継続し本学に対する理解と認知度を高めていきたい。
- ・出願受付開始時期の設定等、学生募集活動は極めて適正に行っている。学校広報を専任とする「広報部」を設置し、学生募集上の広報活動を強化している。募集活動の内容・手法上、今後も真実性・明瞭性には特に留意して諸々の相談・問い合わせに対応できるよう、全教職員で共有する。
- ・オープンキャンパスの実施内容は会によって異なり、技術体験・授業参観・模擬授業受講等で構成している。各会の特性に応じて違った角度から学校を実感してもらえよう工夫している。
- ・入学選考基準は明確に定めており、これに則り適正かつ厳正に選考を行っている。特に問題視される点は無く、今後も継続していきたい。
- ・学納金は経費内容に対応して算定している。今後変更される可能性が大いにあるものであり、その際には様々な観点から十分に検討を重ね、学生側・学校側双方に妥当となるように策定していきたい。また、入学辞退者に対する授業料等の返還は文部科学省通知の趣旨に基づき適切に行っている。

基準8 財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3
私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

- ・財務基盤安定上の要件である学生確保が厳しい状況下にあるものの、現状は概ね健全であると言える。年度予算については先ず予算編成方針が決定され、これに基づく当年度の予算計画が策定される。
- ・計画に沿って執行しているが、予算残高は経理部が確実に把握しており、予算と決算に大きな乖離が無いよう注視している。
- ・適切かつ適正に会計監査を実施しており、財務帳票等書類の一部をホームページで公開している。

基準9 法令等の遵守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3
自己評価結果を公表しているか	4
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
学校関係者評価結果を公表しているか	4
教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

- ・関係法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っている。法令・基準の順守は当然の義務と認識しており、教職員にも学生にも徹底して示している。またハラスメント防止には殊更厳格であり教職員にも深く浸透している。
- ・個人情報保護については、教職員と個人情報を含む機密保持に関する誓約書を取交している他ネットワーク上にはセキュリティ対策を講じている。情報を扱うのは人間であるという点から、情報保護の根本的な重要性を徹底して啓蒙することが最善にして最良の策と考え、常々実施している。
- ・自己評価・学校関係者評価は共に実施し結果を公開しているが、実施規程や体制には整備の余地があると認識している。学校概要・教育内容等の情報をホームページで公開しており、今後も随時更新する。

基準10 社会貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
国際交流に取り組んでいるか	3
学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3

- ・行政や地域等との連携は従来良好であり永きに渡って維持継続されている。教職員及び学生が校舎周辺の清掃活動を毎日行っている他、地域の行事にも積極的に参加している。また、理美容専門学校の特性を活かし、一般を対象とした着付セミナー、日本の伝統文化や年中行事に関するセミナー等を開催している。
- ・学校としては学生のボランティア活動を格段積極的に奨励している訳ではないが、活動を承認した場合は必要であれば支援している。
- ・校是「つくす心」は元来ボランティア精神を示しており、各自が実生活において「つくす心」を実践することが即ち社会貢献に通ずるものと考えている。